

登録コード	E4682900	開講年度	2026				
授業科目	中等家庭科教材研究				担当教員	磯崎 尚子	
英文授業名	Material Study for Home Economics Education				副担当	山岸 明浩	
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	中学校「技術・家庭」（家庭分野）および高等学校「家庭」における学習目標を達成させるために、生徒の発達段階を踏まえ必要な指導内容を十分理解するとともに、教材開発力を修得することを目的とする。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	中学校家庭科及び高等学校家庭科の教員として、教育活動を行う上で必要不可欠な専門的知識と技能を身に着けるとともに、学んだ知識と技能を実践しながら、それらを振り返り、常に改善し、磨き上げていこうとすることができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、防災減災						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	中学校「技術・家庭」（家庭分野）および高等学校「家庭」の授業を行う上での基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ。その上で、情報機器等を活用した教材研究を行い、授業に役立つ教材の開発を行う。 (本授業は、男女共同参画に関する内容を含んでいます。)						
(5)授業計画	第 1 回：ガイダンス、家庭科教材の開発及び効果的な活用方法(情報機器を活用した教材の実践例) 第 2 回：自分の成長と家族・家庭生活についての指導内容と教材研究 第 3 回：家族・家庭や地域との関わりについての指導内容と教材研究 第 4 回：食事の役割と栄養についての指導内容と教材研究 第 5 回：調理と食文化についての指導内容と教材研究 第 6 回：衣服の働きと着方の工夫についての指導内容と教材研究 第 7 回：衣服の手入れについての指導内容と教材研究 第 8 回：家族の生活と住空間との関わりと住居の基本的な機能についての指導内容と教材研究 第 9 回：家族の安全を考えた住空間の整え方と工夫についての指導内容と教材研究 第10回：家族・家庭生活領域の開発した教材の発表 第11回：食生活領域の開発した教材の発表 第12回：衣生活領域の開発した教材の発表 第13回：住生活領域の開発した教材の発表 第14回：まとめ、教材研究振り返り 定期試験、授業アンケートの実施						
(6)成績評価の方法	中学校「技術・家庭」（家庭分野）および高等学校「家庭」における学習目標を達成させるために必要な指導内容が十分理解できたか、また、教材開発力を修得できたかを発表およびレポート50%、他の受講生が開発した教材について相互に評価し学び合う力を授業態度で50%により測り、評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	（i）教材の設定が適切であり、（ii）その教材設定の背景を説明できており、（iii）その教材開発にどのような課題があるのかを指摘できており、（iv）それらの課題に対しての既存の開発例が提示する解決法が適切に把握できており、（v）その上で自分独自の方法や見解を提示できれば「卓越している」。（i）から（v）の5項目は満たしているが質的に不足している場合は「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」とする。						
(8)事前事後学習の内容	授業内容の理解を問う発問を授業冒頭に行う。それに備えるための復習をしてから授業に臨むこと。また、次週までに予習しておくべき箇所を指示する。教材開発においては、自分のテーマに合った教材を広く集め、授業に臨むこと。この授業は、90 時間の学修を必要とする。従って、60 時間以上の時間外学習が必要となる。						
(9)履修上の注意	・ 授業内容は、中高家庭科の教材作成を視野に入れた内容であり、被服学基礎、住居学基礎、生活経営学基礎、食物学基礎を履修済みであること。 ・ 家庭科教育コースの学生は、3年次に履修するのが望ましい。 ・ 講義内容を理解するために、授業時間外の学習が必要となる。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問・相談は、学部窓口教員を通して随時受け付ける。 (学部窓口教員：山岸明浩 yamaaki@shinshu-u.ac.jp)						
【教科書】	中学校学習指導要領解説 家庭編 文部科学省 高等学校学習指導要領解説 家庭編 文部科学省 技術・家庭 家庭分野 自立し共に支え合う生活へ 開隆堂 新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して 東京書籍 新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する 教育図書						
【参考文献】	授業時に適宜紹介する。						